第７回ＮＩＥ子ども会議

実感学ぶわくわく感

【司会】永松芳恵校長
（臼杵市佐志生小）
日本新聞協会認定
ＮＩＥアドバイザー

挾間信乃さん
（大分舞鶴高２年）

後藤未唯子（みいこ）さん
（竹田市竹田南部中２年）

中平大翔（やまと）さん
（津久見市第一中２年）

亀井優冴（ゆうご）さん
（佐伯市八幡小６年）

工藤馨さん
（大分市稙田小６年）

第7回NIE子ども会議（第113回県NIE実践研究会）が2月11日、大分市の大分合同新聞社で開かれた。工藤馨さん（大分市稙田小6年）、亀井優冴（ゆうご）さん（佐伯市八幡小6年）、中平大翔（やまと）さん（津久見市第一中2年）、後藤未唯子（みいこ）さん（竹田市竹田南部中2年）、挾間信乃さん（大分舞鶴高2年）が出席。永松芳恵校長（臼杵市佐志生小＝日本新聞協会認定NIEアドバイザー）が司会を務めた。「NIEに取り組んだ感想」「今後の新聞との付き合い方」などをテーマに活発に意見を交わした。主なやりとりは次の通り。

永松芳恵校長

◆◇◇◇

永松校長　特に心に残っているNIEの授業や活動を紹介して。

後藤さん　出前授業に新聞社の人が来て新聞の見方とかを話してくれた。文字が多いので新聞って手を付けていなかったが、見出しだけで内容が分かる簡単な方法とか教えてくれたので、ちょっと気軽に手を出せるようになった。

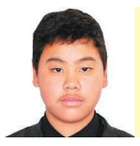
亀井さん　広報委員として新聞の記事に自分の意見や感想を書き、全校児童に発信している。

工藤さん　切り抜き新聞で、好きな野球についてまとめた。思い出に残る新聞になった。

中平さん　3年ぶりの職場体験学習を新聞にまとめる際、大分合同新聞社員を招いて本格的な新聞作りについて学んだ。グループでの見出し作りでは、どうやれば読みたいなと思わせる見出しを付けられるかを考え、みんな楽しそうだった。

挾間さん　階段の踊り場に新聞のコラムを置いているので、特に3年生が利用する。小論文対策として、今起こっていることに自分の意見を持つために活用している。

㊨会議で発言する児童・生徒たち㊧活発な意見に耳を傾ける教諭や保護者ら＝２月11日、大分合同新聞社



工藤さん　「考え発言できるように」

亀井さん　「自ら進んで新聞を読む」

中平さん　「悔いなく投票するため」

後藤さん　「読み書く国語力が付く」

挾間さん　「興味ある分野広がった」

永松校長　新聞を使った授業の良さは何だろう。

後藤さん　毎週水曜日の「すいすいスクラップ」の取り組みで新聞から好きな記事を切り取って感想を書いたり、切り抜き新聞であったりで、自分の興味のあることを知ることができたことがいいと思う。友達から「世の中のことが分かるようになった」「文を読み取ることが上手になった」などの感想が聞かれ、国語力が付くことがいいと思う。

中平さん　新聞を用いると日本や世界までいろんなことを知ることができるので、広く情報を取り入れることができる。

工藤さん　政治や歴史の学習がより具体的になっていいと思う。

亀井さん　身近なことだけでなく、世の中全体のことが分かるところがよい。

挾間さん　最初は授業に必要な記事を探そうとするが、めくっていくうちにたまたま目に入って気になった記事があったりして、興味のある分野が広がっていく感じがある。特にコラムは自分とは違った意見を知れるので、多角的な見方ができるのが魅力。

◇◆◇◇

永松校長　NIE活動で付いた力や役に立ったことは何ですか。

挾間さん　気になった記事を誰かに伝える際などに、簡潔にまとめて要約することができるようになった。国語の力はすごく付く、新聞は一種の教材なんだなと思う。

工藤さん　自分の考えを持ち、発言することができるようになった。

亀井さん　短時間で文章をまとめる力と、理解する力が付いた。

後藤さん　テストの課題で、以前より文章を書けるようになった。文を書いたり読んだり、漢字を読めるようになることもよい。

永松校長　NIEを経験する前と後で、新聞との関わりの変化は。

亀井さん　前は新聞にあまり興味を持てずに読もうとしなかったけれど、今は自分から進んで新聞を読めるようになった。

後藤さん　中学で新聞を読むようになって知ったことかを家族に話すと、家族が興味を持ってくれ、みんなで楽しんでいる。新しい知識が増えることが楽しい。

工藤さん　文字などに親しめるようになった。

挾間さん　新聞を敬遠しがちだったが、ちゃんと読んでみると意外と面白い記事がある。母親と共有することで会話も弾むし、新聞は活字に触れる大切な機会。高校に入って時間がなくて、テレビで夕方の地方ニュースを見る時間がなくて、朝の全国ニュースしか知らなかったが、県内のニュースを知るのにいいなと思って大分合同新聞をよく読んでいる。

中平さん　はじめは新聞は政治のこととかばっかり載ってて難しそうだなと思ったが、実際に読んでみると地域のこととかもあって、意外と面白いんだと。家族で話して、自分自身の中で成長できるような感じがする。

永松校長　出席者同士で詳しく聞いてみたいことはないですか。

中平さん　新聞を読むきっかけは何ですか。

挾間さん　高校進学が大きな機会。授業で自分の意見を持たないといけないことが増えて、世の中のことを知ることが大事だなと思って新聞を読んだり、ニュースを確認したりするようになった。

後藤さん　祖母が私たちの名前が載っている記事を見せてくれ、それがうれしくて読み始めたんじゃないかな。

工藤さん　先生が授業で使い始めてから。

亀井さん　全校でNIE活動が始まったことで。

永松校長　中平さん自身は。

中平さん　新聞を読んでいる姿が格好良さそうじゃないですか。そういうところから、図書室とかで読み始めた。

◇◇◆◇

永松校長　会場の大人にお願い事はないですか。

亀井さん　新聞社にお願い。読めない漢字が多くて困っている人をよく見かけるので、読みやすいように読み仮名を付けてほしい。

工藤さん　新聞社にお願い。「吹き出しバトル」など参加できる記事が増えるとうれしい。

中平さん　子ども向けの記事がもっと読みたい。

永松校長　会場の参加者からの質問は。

会場　大人の活字離れが進んでしまっていて、新聞を読まない大人も増えている。皆さんが新聞から深く学んでいる様子を聞かせてもらい、大人も読むことで新しい発見があると思う。大人たちに読むきっかけになるようなメッセージを送るとしたら。大人に活を入れる一言を。

中平さん　新聞を読まないと時代の最先端についていけない。知っていると自分の息子・娘との会話も弾むと思う。読んでおかないと子どもに時代後れと言われるかもしれません。

挾間さん　新聞に限らず紙媒体にいえるが、ページを一枚一枚めくることで、ワクワク感を持って読める。子どもの時には紙に触れていたと思うので、幼い頃の気持ちを思い出してぜひ紙を手にとっていただきたい。

後藤さん　家族共通の話題探しに新聞や文字を活用してほしい。

工藤さん　言葉の使い方を学べると思うので、読んだ方がいい。

亀井さん　楽しいことやおいしい食べ物がある店とかが分かるので、読んだ方がいいと思う。

◇◇◇◆

永松校長　最後に皆さんの将来に、新聞の生かし方、どう付き合っていくか話してほしい。

亀井さん　世の中のことを知っておきたいので、これからも積極的に新聞を読んでいきたい。

中平さん　18歳になったら選挙権を持つので、新聞を読んでおくことで今の政治について知り、今後、どんな政治をしてほしい、どんな日本にしてほしいというところから、悔いのない投票をできるといいと思う。

後藤さん　新聞を読むことで国語力が上がるが、最近私は英語に興味を持っているので、外国の新聞とか読んで英語で読めるようになりたい。国語の勉強だけでなく、社会の勉強もできるし、言語の勉強もできるように、将来も新聞を使っていきたい。

工藤さん　知らない言葉を新聞で学んでいきたい。

挾間さん　受験の小論文を書く際、新聞を読んでいると知識や考え方を生かすことができると思うので、勉強としても新聞を読んでいきたい。将来、1人暮らしをすることになったら、親が外から情報を教えてくれることがないので、自分から積極的に情報を得る手段として新聞を使いたい。

教育に新聞を